

本校は、昭和29年に開校した東京学芸大学の附属学校です。1学年約320名、8クラスあります。3地区の附属中学、一般中学、帰国から進学してきた生徒が同じクラス

で学ぶのが特徴的です。このパンフレットでは、本校の教育の特色について「授業」「行事」「SULE」「部活動」「キャリア」の5つの観点から紹介します。

1to1 ~ 「これからの教育」をつくる~

令和2年度入学生から「1to1(1人1台PC)」を開始しました。1人1台のMacBook Airをリース契約してもらい、本校の教育活動の中で活用していくというものです。主体的に情報を集め、考え、表現・発信することのできる生徒の育成を目指しています。



Q1to1を通して学んだことや身に付けたことは何ですか？

1to1の導入により、学習の効率が格段に向上しています。例えば、レポートをPCを用いて作成することで、手書きよりも早く綺麗に仕上げることができます。PCを使ってグラフを描いて動かす、物理のシミュレーションをする、地図を見るなど実際に体験したり、様々なものに触れて学べることも大きな利点です。また、クラスや学校全体を通しての活動においても、PCを活用することで出来ることの幅が大きく広がっています。

学校生活の様々な場面でPCを活用した生徒(附属小金井中学校出身)

より活動的に

生徒が「表現」する場面が多くなりました。自分の考えを打ち込む、パフォーマンスを動画に撮り共有する、成果をまとめる、今まで以上に生徒が活動することを中心にした授業展開がしやすくなりました。

より便利に

教師-生徒間、そして生徒間での「共有」が容易になりました。ファイルを共有する、意見を共有する、画面を共有する、成果物を共有する、そして体験を共有する。今まで以上に便利に共有ができるようになりました。

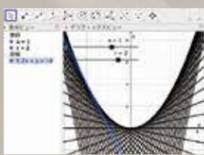
より効果的に

1to1の導入は一斉授業の「意味」を考えるきっかけとなりました。個別に学ぶ場面、ペアで教え合う場面、グループで話し合う場面、クラスで議論する場面、今まで以上に効果的な学習ができるようになります。

実践紹介

数学科

グラフの作成、図形の作図、データの整理、レポートの作成、表計算などを各自のデバイスで行なっています。アプリケーションGeoGebraを活用し、グラフやデータを観察・分析し仮説や問いを立てたり、手計算で得られた結果を図的に検証し発展させたりしています。また、授業課題の予習の提出にも使用しています。



芸術科 音楽

授業ごとの学習感想をGoogle classroomで提出させ、コメントをつけて返却を通年で繰り返しています。また、「連作曲集をつくるう」では、楽譜作成ソフトMuseScore3を活用して各自が作曲した作品(楽譜と音源)をドライブで共有し、相互評価に



理科 物理

予習動画の視聴、データ解析やシミュレーション、小テストなど、予習・授業・復習の全てで1to1PCを活用しています。オンライン上で課題の配信・回収を行うことで、フィードバックが容易になり、双方向性が増えています。



理科 地学

「YouTube上の予習動画の視聴」と「観察重視の対面授業」を組み合わせた「反転授業」の形式を取り入れています。データの整理、レポート作成、プレゼン動画の提出など、様々な形で生徒が成果をアウトプットするためにデバイスを使用しています。

HR・委員会・部活動

授業以外の場面でも様々な形で使用されます。面談の予約や意見集約・アンケートの実施など、オンライン上での情報のやり取りをするためには1to1は大変便利です。コロナ禍ではオンラインHRなどを実施し、三者面談や保護者会などもオンラインで実施されることもあります。

キャリア 世界に、未来に目を向ける

本校におけるキャリア教育は、今後の長い人生を見通した「キャリア」を意識したものです。授業も含め、20年後、30年後に責任を持つ射程距離の長い教育を目指しています。そこから、今、目指すべき進路が見えて来ます。



篠原 梨葉
東京大学法学部卒業
TBSアナウンサー

卒業生からのメッセージ

附高の素晴らしさは大きく分けて二つあります。それぞれ高い専門性を持つ先生方のもと、学問の垣根なく多くの分野について学び、広い見識を身につけられるところ、行事や勉強、部活といった様々な活動をやりくりするためのバランス感覚を身につけられるところです。私にとって附高での経験は、学業を中心とした様々な活動に全力投球し、良い意味で欲張りに生きる力の素地となっています。

新たな時代に新たな出発を

新しい時代の進展が新型コロナウイルス感染症の影響で急加速しています。AIやブロックチェーン技術をはじめとするICTの進化と生命科学の発展が大きく世界を変えています。この変化は、日本社会にもその産業構造、社会構造の改革をもたらし、私たち学校社会にも影響を与えています。

端的に言えば、この新たなSociety5.0の社会においては、学んだ知識や技能はあっという間に陳腐化するということです。そのため、人は生涯にわたり学び続けなければなりません。学校は、大学や大学院も含め、完成を目指す教育ではなく、生涯にわたる「学びの姿勢」と「学

びの方法」を身につける場になりました。東京学芸大学附属高等学校は、伝統的に「本物教育」をうたってきた。本物に接し本物の学力を身につけるといえるものです。たとえ遠回りであっても、実験・実習とフィールドワークを重視し、生徒間の議論とレポート、プレゼンテーションを大事にしてきました。それが今の時代、これからの時代に益々真価を発揮することでしょう。

皆さん、生徒として、本校の歴史に参加し、本校の本物教育を共に作り上げていきませんか。

校長 大野 弘

校章の由来

本校の校章は、創立時の昭和29年、初代校長大塚三七雄が泰山木に教育の理想像を見だし、その委嘱を受けて東京学芸大学の美術科教授大坪重周がデザインしたものです。

創立当時、東京学芸大学竹早分校の正面玄関には泰山木の大きな樹がありました。泰山木は、北アメリカ原産のモクレン科に属する常緑高木で、幹の高さは20mに達します。花は6月ごろ咲き、大きさは径15cmくらいで白く、芳香を放ちます。本校の校章は、この泰山木の花を図案化したもので、中央に「高」の字が配されています。

本校の教育方針はこの泰山木の花・幹・産地などを念頭において起草されており、PTA・後援会の名称も泰山会となっています。



【進学実績】

本校生の約半数が国公立大学へ進学しています。令和4年度入試では、東京大学に27名(現役13名)、京都大学に10名(現役10名)、東京工業大学に3名(現役3名)、一橋大学に8名(現役5名)が進学しています。

また、国公立等医学部医学科は29名(現役13名)、私立大を含めると76名が全国の医学部医学科に合格しています。近年では、ハーバード大学、オックスフォード大学、ブラウン大学などを含め、海外の大学への合格者も多くなっています。

【高大接続】

東京学芸大学との高大連携による教員養成プログラムを実施しています。これは「優れた教員の輩出を目的とする高大連携教育システムを構築する」ことを目的とした連携研究です。高3の夏休みに東京学芸大学で教員志望者を対象としてセミナーを開催しています。

京都大学と、大学および高等学校における教育の課題に関して、教育研究の充実・発展に資することを目的として連携しています。進学相談会の開催、京都大学が主催する全国規模の課題研究発表大会への参加、本校卒業生との交流会の開催等を検討しております。



電車
東急東横線「学芸大学」駅下車 徒歩15分東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩20分
バス(東急バス)
【渋谷駅】31番のりば 渋32「野沢聖徳寺徳園」行き
【目黒駅前】2番のりば 黒06「三軒茶屋駅」行き
【三軒茶屋駅】(黒06)「目黒駅前」行き
※いずれも「学芸大学附属高校」下車
2022年5月現在



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5
TEL 03-3421-5151 FAX 03-3421-5152
http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/

2022

東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

授業 学問の本質を学ぶ

「本物教育」 本校の授業のモットーを表す言葉です。実物に触れる授業、学問の深みを感じる授業を目指しています。また多くの科目で実物に触れる機会として教科行事を実施しています。



本校では、「資質・能力の育成」を重視したカリキュラムづくりに継続的に取り組んでいます。「何を知っているか」ではなく、「何ができるか」という観点で、授業づくりを見直すというものです。これは今年度から始まる新たな学習指導要領の改定にもつながるものです。また、「Ito1 (1人1台PC)」や「探究活動」など教育における新たなキーワードとも関連付けながら、より良い授業のあり方を模索し、実践しています。本校教員と共に新たな教育をつくっていきましょう。

本校の教育課程表 (2022年度入学生の場合)

本校では、2年次までは全ての科目が必修で行われています。1・2年次で培った基礎の上に、3年次では各々の将来を見据えた授業選択ができます。(卒業に必要な単位数は「80」とする、◆は学校設定科目または学校設定教科である、芸術科は選択必修で一つ選択)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	地学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 工業Ⅰ 家庭Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	SSH探究	HR																	
2年次	文学国語	古典探究	◆歴史探究	公共	数学Ⅱ	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅱ 美術Ⅱ 工業Ⅱ 家庭Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	◆SSH探究	HR																
3年次	文学国語	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	3年選択 (7~22単位)	◆古典A/◆古典B/世界史探究/日本史探究/地理探究/政治・経済/倫理/数学Ⅲ/数学C/◆理系数学演習/◆数学演習/物理/化学/生物/地学/◆理科基礎演習/◆選択体育/音楽Ⅲ/美術Ⅲ/工業Ⅲ/看護Ⅲ/◆家庭特講/◆発展SSH探究	HR																										

Q 附属高校での生活について教えてください
 附生として過ごす時間は、臆することなく何にでも挑戦し、苦悩し、失敗することのできる素晴らしい時間です。HR委員長や部長としては仲間の得意なことを見極める力や、コミュニケーションの最大化と効率化を両立する力を、関東近県SSH指定校合同発表会やJENESYS2020では、粘り強く突き詰める力や世界への発信力を身につけました。附高では、温かな尊敬できる仲間たちと、これからの社会で自分らしく生きてゆく力を培うことができます。

Q 附属高校での生活や授業について教えてください
 授業を受けた後の休み時間は、友達と話したり遊んだりして過ごしています。友人に囲まれ、寂しくなることはありません。附属高校の授業は単なる座学だけではなく、ディスカッションや実験が豊富です。座学で得られた知識を、話し合いは実験を通じて振り返ることで、本当に自分のものになることができます。スケジュール的には忙しい日々ですが、充実しています。

「探究活動」の重視
 ビジョンを示し、課題を設定し、解決していける人が社会に求められています。そのような人をつくるために、自ら問いを立てて、探究し、発信する「探究活動」を重視した教育を展開しています。1年生では探究の基礎を学び、2年生では各自の興味・関心に沿った探究を進め、3年生では探究活動を継続して深めます。月1回程度、土曜日にも授業を行い、授業は全教員によって実施されます。外部の大学や研究機関から支援を受けることも可能です。さまざまな外部発表の機会もあります。



行事 協働の精神を養う

辛夷祭・体育祭をはじめとして、行事満載の高校生活です。学校行事では生徒が中心となり、より魅力的な行事になるように協力して運営しています。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況で変更になることもございます。

4	入学式① 始業式②③ 対面式・新入生歓迎会 Science fair ①② 球技大会③	5	遠足 生徒総会 中間考査	6	地理実習① 体育祭 球技大会② 進路講演会②	7	期末考査 古典劇鑑賞会② 終業式 林間学校①(夏休み)	8	夏休み	9	始業式 辛夷祭 進路講演会②	10	中間考査 現代劇鑑賞会①	11	野外実習① 学習旅行② 球技大会①	12	期末考査 プラネタリウム見学① 筑波視覚特別支援学校交歓会②③ 終業式 スキー学校①(冬休み)	1	始業式 歌留多会①② 進路講演会①	2	科学見学実習① 社会見学実習② マラソン記録会①② 講演会	3	卒業式③ 期末考査 探究発表会 終業式③④
---	---	---	--------------------	---	---------------------------------	---	--------------------------------------	---	-----	---	----------------------	----	-----------------	----	-------------------------	----	---	---	-------------------------	---	--	---	--------------------------------

地理実習
 地理の授業の一環で、旧江戸城周辺を1日かけて散策します。総移動距離16kmの中で、地理や歴史の見方・考え方を身につけます。



古典劇鑑賞会
 国語の授業の一環で、1年次には現代劇鑑賞、2年次には古典劇鑑賞を実施します。伝統的な言語文化を体感する時間です。

林間学校
 1年次に本校妙高寮に宿泊し、妙高山登山を中心とした自然体験を通し、体力の限界に挑むとともに、仲間との友情を深めます。



野外実習
 地学基礎の授業の一環で、城ヶ島にて地層の観察実習を行います。12月には天文現象の理解を深めるためにプラネタリウム見学も行います。

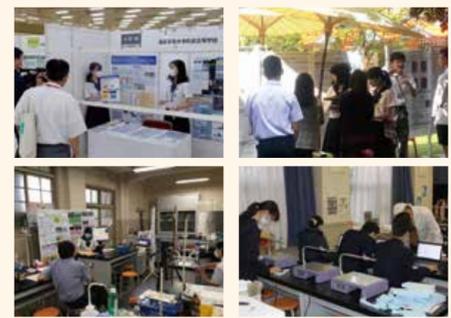


Q 学校行事を充実させるために工夫したことは何ですか？
 ユニークな学校行事は、附高の大きな魅力の一つです。中学生の頃に初めて辛夷祭を訪れたとき、その活気に圧倒され、強い憧れを持ちました。コロナ禍であっても、私にとって行事は必須要素でした。附高はレポート課題が多いことで有名ですが、昼休みや授業間は説明会や打ち合わせがあるので、課題は朝早く起きて出発までの時間にやっていました。試験前は、仕事をしつつ、執行部の仲間と教えあって生徒会室で勉強しました。

辛夷祭委員長として行事に熱心に取り組んだ生徒(御幸川東立中学校出身)

SULE 国際的リーダーを育てる

SULEとは、Scientific Universal Logic for Education の略で、本校の提案する総合的な文理融合型の本物思考の教育を指す造語です。SSH(令和4年度よりII期目経過措置)やSGHアソシエイト(平成30年度終了)の先進的なカリキュラム開発で得られた知見と、本校の伝統的な「本物教育」の融合を目指しています。



【最近2年間の外部発表会の受賞歴】
 令和2年度SSH生徒研究発表大会
 第65回日本学生科学賞東京都審査
 日本植物学会第85回大会
 日本植物学会第84回大会
 TAMAサイエンスフェスティバル in TOYAKU 2021
 令和3年度日本水産学会秋季大会
 日本地質学会第125年学術大会

ポスター賞
 優秀賞
 奨励賞
 優秀賞
 特別賞
 優秀賞
 奨励賞
 優秀賞

「国際交流活動」の活性化

タイ王国のPCSHSCR(プリンセス・チュラポーン・サイエンスハイスクール・チェンライ校)との国際交流を実施しています。毎年、十数名の生徒たちが相互に学校を訪問し、自然科学に関する研究発表を行います。また、コロナ禍においてオンライン上での共同研究も始めました。海外の高校生との研究交流を通して国際的に活躍できる人材を育成しています。

特別授業

生徒の知的好奇心を刺激し、視野を広げるための場として、「特別授業」を実施しています。特別授業の事例には、東京工業大学の岩附信行教授をお招きし、工学の魅力を感じ、「飛び出せ工学君！」や、東北を訪問して、震災復興の今を現地の方々から何う「東北スタディツアー」など、日頃の授業では体験できない学びを経験することができます。

Q 探究活動で学んだことを教えてください

1年生のときは「宇宙人文学」を学び、衛星画像を活用しながら歴史的な事象について迫る研究に触れました。2年生からは「土地利用と水質の関係」をテーマに設定して、タイの高校生たちと共同研究を行っています。探究では論理的な思考が求められます。物質の影響や人間の影響が生態系にどこまで関係があるといえるのか、安易に推論せずデータから確実に読み取れることを徹底することで、科学的な見方を鍛えてもらいました。



探究活動に真摯に取り組んだ生徒(附属世田谷中学校出身)

部活動 心・技・体を鍛える

本校生徒の9割以上がいずれかの部活に所属しており、部活動が大変盛んです。全国大会や関東大会に出場する部活もあり、限られた時間の中で有意義な部活動を送っています。

【最近3年間の主な活動実績】
演劇部 令和2年度 東京都高文連演劇部門山手城南地区大会 地区賞 囲碁部 全国大会(第四十三回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会) 個人戦男子の部 予選1勝2敗
書道部 第43回 学芸書道全国展 理事長賞 第34回 東京都高等学校文化連盟書道展 会長奨励賞 かるた部 第27回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会・代替大会 優勝 東京Aチーム(副将として参加) 第43回全国高校生選手権大会 A級の部 全国3位(個人戦) 第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021) 最優秀賞(団体戦 全国第1位)(副将として参加) ※東京都代表チームは併せて「文部科学大臣賞」も受賞
合唱部 東京春のコーラスコンテスト2021 高等学校の部 混声 優秀賞
文芸部 東京都高文連 第35回文芸部門地区大会 短歌 佳作 ※84年8月20日に行われる第22回関東地区高校生文芸大会(千葉大会)参加予定 東京都高文連文芸部門中央大会 小説 優秀賞 令和3年度 東京都高等学校文化祭文芸部門 中央大会 第36回文芸部のついで 俳句の部 優秀賞
ホッケー部 令和3年度 東京都高等学校総合体育大会ホッケー競技会 兼 第50回関東高等学校ホッケー大会東京都予選会 女子 優勝
サッカー部 令和元年度 新人戦 6地区 第3位 令和2年度 全国高校サッカー選手権大会 都大会出場(Best64)

部活動・同好会一覧

【文化系】
 オーケストラ, 美術, 軽音楽, 演劇, モダンジャズ研究, ESS, 囲碁, 家庭科, 書道, かるた, 合唱, 天文, 文藝, クイズ研究

【体育系】
 ソフトテニス, 卓球, ホッケー, 硬式野球, 水泳, サッカー, ハンドボール, 男子バスケットボール, 女子バスケットボール, 男子バレーボール, 女子バレーボール, 陸上競技, 男子硬式テニス, 女子硬式テニス, 柔道, 剣道, 弓道, 山岳, バドミントン, ダンス

【同好会】
 パソコン, 落語研究, マイコン制御, 写真

Q 勉強と部活の両立で苦労したこと、心がけていることは何ですか？
 部活と勉強の両立は正直とても大変です。忙しすぎて1日が本当に一瞬に感じると思っています。あつという間に一週間、一年間がすぎてしまいます。そんな忙しい日々を有意義に過ごすためには、勉強も部活も絶対に妥協しないでやり抜く精神をもつことが大切です。部活に勉強に、全力で打ち込める時間は限られています。高校生の3年間、後悔しないようにやれるところまでやってみれば、大変でもきつと充実した毎日を送れると思います！

附生は忙しい? ~1日の様子~	登校 ~8:20
授業は一コマ50分です。お昼休みは委員会活動なども盛んに行われています。放課後は部活動だけでなく、授業の課題や行事の準備に協力して取り組むも様々な活動に取り組んでいます。	午前授業 (4コマ)
	お昼休み
	午後授業 (2or3コマ)
	放課後・下校 ~17:00 (部活動等の延長 18:00)